

令和5年度

農政部施策概要

令和5年8月

山梨県農政部

【 目 次 】

はじめに	1
1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成	2
(1) 新規就農者や参入企業の確保・育成	2
① 就農促進体制の強化	
② 就農定着に向けた仕組みづくり	
③ 就農希望者を増やすための普及啓発の推進	
(2) 中心経営体の育成と農地集積等	4
① 中心経営体の育成	
② 中心経営体への農地の集積等の促進	
(3) 地域を支える多様な担い手の確保・育成	6
① シニア世代等の就農促進	
② 障害者の農業分野での就労促進	
③ 若手女性リーダーの育成	
④ 地域の農業を支える農業者組織等の育成	
2 農業生産の効率化、農産物の高品質化	7
(1) スマート農業の推進	7
① 農業におけるビッグデータの蓄積・活用	
② IoT、ICT等の先端技術を活用した農業の普及促進	
(2) 環境にやさしい農業の推進	8
① 有機農業の推進	
② 環境に配慮した農業の推進	
③ 再生可能エネルギーを活用した農業の普及促進等	
(3) 異常気象への対応	9
① 地球温暖化に適應した品目・品種、栽培技術の開発・普及	
② 農業保険制度への加入促進	
(4) 支援体制の強化	10
① 試験研究機関の機能強化	
② 地域普及センターとJAの営農指導員との連携強化	
③ 農作業安全対策の推進	
3 品目別の生産振興策	11

(1) 果樹	11
① 優良品種の開発・普及	
② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及	
③ やまなしブランド果実の生産拡大、出荷体制の強化	
④ ワイナリーの需要に対応した醸造用ぶどうの生産拡大	
(2) 野菜	13
① 主要野菜産地の強化	
② 高品質化、省力化・低コスト化技術等の開発・普及	
③ 地域特性を生かした特産野菜の生産・販路の拡大	
(3) 水稻等	14
① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等	
② 水田のフル活用の推進	
③ 原料用酒米の産地化の推進	
④ 米穀の需給調整の推進	
(4) 花き	15
① オリジナル花きの開発・育成・生産の拡大	
② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及	
③ 県産花きのPRと販路拡大	
(5) 畜産	16
① 食肉のブランド力の強化と畜産農家の経営安定	
② ブランド化・高付加価値化・低コスト化等に向けた技術の開発・普及	
③ 次世代型畜産の推進	
④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化	
(6) 水産	19
① 養殖技術の開発と種苗の供給、遊漁の推進	
② ブランド魚の養殖技術の確立・普及と販路拡大	
③ 新規参入養殖業者等への支援	
(7) 地域特産物	19
① 茶の高品質化、販売の拡大	
② シビエ等の活用の推進	
③ 新たな特産品目の導入と産地化	

4	販売につながるプロモーション等の展開	21
	（1）海外への販路拡大と販売促進	21
	① 新たな輸出先国の開拓	
	② 輸出促進に向けた新たな体制づくりと効果的なプロモーション活動の実施	
	（2）国内における販売促進	21
	① 県産農産物等のブランド力の強化	
	② 県産農産物の更なる販売促進	
	（3）安全で安心な農産物の生産・供給	23
	① やまなしGAP等やHACCP認証取得の促進	
	② 農薬等の適正使用の推進	
	③ 農産加工品の製造工程管理の徹底	
5	地域の農産物の利用促進	24
	（1）地域資源を活用した6次産業化の促進	24
	① 6次産業化支援体制の強化	
	② 県産農産物を活用した新たな加工品開発と促進と販売支援	
	（2）地産地消・地産訪消の促進に向けた販売集客拠点の整備等への支援	24
	① 県産農産物の消費拡大と新たなニーズに対応した品目の生産支援	
	② 農産物直売所等の施設整備への支援	
6	地域資源を活用した農山村の活性化	25
	（1）他分野と連携した農山村の活性化	25
	① 地域資源を活用した都市農村交流の推進	
	② 農福連携の推進	
	（2）農地及び農村景観の保全	25
	① 農業・農村の多面的機能の保全	
	② 環境との調和に配慮した基盤整備等の推進	
	（3）鳥獣被害対策の推進	26
	① 野生鳥獣被害対策の推進	
	② 水産資源の被害防止と保全対策の推進	
	③ 世界農業遺産の認定と保全・活用	

7	力強い農業を支える基盤整備	28
	(1) 成長産業化に向けた基盤整備	28
	① 中心経営体等への農地集約や果樹産地等の基盤整備	
	② 企業の農業参入に向けた基盤整備	
	(2) 災害に強い基盤整備	30
	① 防災・減災に向けた農業用水利施設等の整備	
	② 農業用施設の耐震化・長寿命化の推進	
	(3) 効果的な荒廃農地対策の推進	32
	① 荒廃農地の発生防止対策の推進	
	② 荒廃農地の再生の推進	
	③ 再生農地の活用の促進	

付表 補助対象別主要事業一覧

はじめに

本施策概要は、農業者をはじめ県民の皆様に令和元年12月に策定した「やまなし農業基本計画」に基づいて本年度農政部が取り組む主な事業等について知っていただき、活用していただくためにとりまとめた資料です。

<やまなし農業基本計画>

新たな県政運営の基本指針となる「山梨県総合計画」の部門計画であり、本県農業の目指すべき中長期的な構想と令和元年度から4年間に実施する施策・事業の内容、行程などのアクションプランを示す本県農業振興の指針となる計画です。詳細は、「やまなし農業基本計画」を御覧ください。

掲載サイト：https://www.pref.yamanashi.jp/nousei-som/r1_kihonkeikaku.html

○計画期間 令和元年度～令和4年度（4年間）

○目 標 「生産者の所得の向上」を実現するため、「稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備」と「豊かで活気ある農山村の創造」の2つの目標を掲げ、次の7つの柱に分類した施策に関係機関と一体となって取り組む

I 稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備

- 1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成
- 2 農業生産の効率化、農産物の高品質化
- 3 品目別の生産振興策
- 4 販売につながるプロモーション等の展開
- 5 地域の農産物の利用促進

II 豊かで活気ある農山村の創造

- 6 地域資源を活用した農山村の活性化
- 7 力強い農業を支える基盤整備

○重点施策 ①多様な担い手の確保・育成
②スマート農業の導入による効率化、高品質化の推進
③海外市場でのプロモーション活動の展開

1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成

(1) 新規就農者や参入企業の確保・育成

① 就農促進体制の強化

- (6補)新「やまなし就農ライフサポート事業費」(担い手・農地対策課 11,279千円)
内容:新規就農を促進するため、就農に関心がある者が生産現場の理解を深める取り組みを行う。
事業内容 農業総合情報サイトにおける特集ページの掲載、座談会・見学ツアーの開催、農業体験の実施
- (当初)「就農支援対策事業費」(担い手・農地対策課 8,005千円)
内容:意欲ある新規就農者を確保するため、就農支援センターを設置し、就農支援マネージャーによる就農相談活動を実施するなど、就農支援体制の整備を図る。
- (当初)「農林大学校費」(農業技術課 75,557千円)
内容:農林大学校において農業後継者の教育や新規参入希望者への研修を行う。
- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」(担い手・農地対策課 5,419千円)
内容:効率的な農業経営が可能となる経営体を育成するため、企業の農業参入等を促進する。
 - ・「企業的農業推進事業費」(952千円)
事業内容 企業訪問やセミナーの開催等
 - ・「農業経営継承支援事業費」(4,467千円)
事業内容 セミナーの開催、法人設立費用の助成、専門家の派遣等

② 就農定着に向けた仕組みづくり

- (当初)「新規就農者育成総合対策事業費」(担い手・農地対策課 428,925千円)
内容:新規就農者の育成と定着を図るため、就農準備や経営開始後の早期の経営確立を支援する。
 - ・「就農準備資金交付事業費」(61,000千円)
対象者 就農前研修者(就農時50歳未満の者等)
交付額 1人当たり年間1,500,000円
 - ・「経営開始資金交付事業費」(175,650千円)
交付先 市町村
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)
交付額 1人当たり年間1,500,000円
 - ・「経営発展支援事業費補助金」(189,375千円)
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)
補助対象 機械・施設の導入、果樹改植、機械リース等
補助率 3/4(国2/4、県1/4)
 - ・「推進事業費」(2,900千円)
事業内容 研修会の開催等
- (当初)「やまなしあぐりゼミナール事業費補助金」(担い手・農地対策課 13,941千円)
内容:新規就農者を確保するため、就農に必要となる基礎的な技術や知識が不足する者を対象とした研修事業に対し助成する。
補助先 (公財)県農業振興公社
補助率 10/10(国10/10)

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部)

内容：農家を対象とした農業改良普及指導活動を行う。

- (当初)「親元就農者経営安定支援事業費補助金」

(担い手・農地対策課 29,000千円)

内容：親元就農者の確保・育成及び定着を促進するため、新規親元就農者を支援する。

補助先 市町村

要件 就農時50歳未満、前年度所得600万円以下(本人及び配偶者の合計)等の全ての要件を満たす者

補助率 1/2(県単)

- (当初)「農林大学校費」 (農業技術課 75,557千円) P2再掲

③ 就農希望者を増やすための普及啓発の推進

- (当初)「中山間ふるさと・水と土保全対策事業費」 (耕地課 14,414千円のうち一部)

内容：中山間地域の集落機能の強化を図るため、地域活動を推進する人材の育成や施設・農地の利活用及び保全整備等の促進に対する支援を実施する。

- (当初)「就農トレーニング塾設置事業費」 (農業技術課 3,129千円)

内容：本県に就農を希望する新規就農者に対し、実践的な農業体験ができる短期研修を行う。

- (当初)「高校生めぐり体験事業費」 (農業技術課 203千円)

内容：将来の担い手になりうる高校生を対象に、農林大学校での座学や農業体験等をしてもらい、農林大学校への入学と新規就農への促進を図る。

- (当初)「やまなし食農菜園教育モデル実践事業費」 (農政総務課 3,114千円)

内容：本県の特徴ある農業への関心を醸成し、将来の担い手を育成するため、モデル校において農業体験を通じて食と農への理解を深める「食農菜園教育」を推進する。

- (当初)「農林大学校費」 (農業技術課 75,557千円) P2再掲

- (6補)新「やまなし就農ライフサポート事業費」

(担い手・農地対策課 11,279千円) P2再掲

(2) 中心経営体の育成と農地集積等

① 中心経営体の育成

●(当初)「**企業的農業展開支援対策事業費**」 (担い手・農地対策課 5,419千円) P2再掲

●(2補・当初)「**農業用機械・施設整備事業費補助金**」

(担い手・農地対策課 2補:10,200千円 当初:4,800千円)

内容:生産の効率化や経営の高度化を図るため、目標地図に位置づけられた経営体等が行う機械・施設の導入を支援する。

補助先 市町村
事業内容 農業用機械の購入、農業用施設の整備
補助率 1/2、3/10

●(当初)「**果樹王国やまなし就農支援事業費補助金**」(担い手・農地対策課 10,000千円)

内容:親元就農した農家子弟の規模拡大又は新規参入者が就農する際に必要な機械等の整備に対し助成する。

補助先 市町村
事業内容 農業用機械等のリース
補助率 2/9 (県単)

② 中心経営体への農地の集積等の促進

●(当初)「**人・農地将来ビジョン策定支援事業費**」 (担い手・農地対策課 32,599千円)

内容:地域が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化した地域計画の策定に向けた取り組みを支援する。

・「**策定支援事業費補助金**」 (29,099千円)

補助先 市町村
事業内容 地域計画の策定
交付率 10/10

・「**推進事業費**」 (3,500千円)

事業内容 市町村への助言・指導等

●(6補)新「**農地集積・集約化促進支援事業費**」 (耕地課 20,000千円)

内容:担い手への農地集積等を加速化させるため、市町村が策定する地域計画の実現に向けた取り組みを支援する。

●(当初)「**農業委員会指導費**」 (担い手・農地対策課 151,880千円)

内容:市町村農業委員会や県農業委員会ネットワーク機構の運営や事業に対し助成する。

・「**農業委員会交付金**」 (57,575千円)

市町村農業委員会の運営に要する経費に対し助成する。

交付先 市町村
交付率 定額

・「**農業委員会ネットワーク機構補助金**」 (24,965千円)

県農業会議が県農業委員会ネットワーク機構として行う農地転用許可に係る事務や市町村農業委員の資質向上のための事務等に対し助成する。

補助先 県農業委員会ネットワーク機構
補助率 定額

・「**農地中間管理機構集積支援事業交付金(農業委員会)**」 (21,639千円)

市町村農業委員会が行う農地の利用状況調査や荒廃農地所有者との相談活動等、農地集積に向けた活動に対し助成する。

交付先 市町村

(3) 地域を支える多様な担い手の確保・育成

① シニア世代等の就農促進

- (当初)「シニア世代就農促進事業費補助金」 (担い手・農地対策課 3,169千円)
内容：新規就農者を確保するため、シニア世代を対象とした農業技術研修等の取り組みに対し
助成する。
補助先 (公財) 県農業振興公社
補助率 10/10 (県単)
- (当初)「農林大学校費」 (農業技術課 75,557千円) P2再掲
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

② 障害者の農業分野での就労促進

- (当初)「次世代型農福連携パワーアップ事業費」
(農村振興課(障害福祉課) 17,179千円)
内容：障害者の経済自立を支援するため、障害者の農業分野への就労を促進する取り組みを行う。
 - ・「農福連携マッチング事業費」 (7,659千円)
内容：県農福連携推進センターを設置し、農業経営者と障害者就労施設等のマッチングを行う。
 - ・「農福連携商品ブランド化支援事業費」 (7,520千円)
内容：農福連携フェアの開催、農福連携商品自動販売機の設置等
 - ・「農福連携新規参入・立ち上げ支援事業費」 (2,000千円)
内容：農業に取り組もうとする障害者就労施設等に対する初期投資の補助
補助先 社会福祉法人等
補助率 定額 (県単)

③ 若手女性リーダーの育成

- (当初)「農村女性活動推進支援事業費」 (農業技術課 4,457千円)
内容：農業・農村の活性化を図るため、地域農業の指導的役割を担う女性リーダーを育成する。
 - ・「地域における女性農業者活躍推進事業費」 (3,096千円)
内容：地域農業の中核となる女性農業者の育成や働きやすい環境を整備するための
取り組みを行う。
事業内容 セミナーの開催、グループ活動の支援等
 - ・「農村女性活動推進支援事務費」 (1,361千円)

④ 地域の農業を支える農業者組織等の育成

- (当初)「農村青少年組織育成事業費」 (農業技術課 285千円)
内容：県青年農業士及び県指導農業士を認定するとともに、認定後の自主的組織活動を支援する。
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

2 農業生産の効率化、農産物の高品質化

(1)スマート農業の推進

① 農業におけるビッグデータの蓄積・活用

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

- (当初)「データ農業推進事業費」 (農業技術課 14,156千円)
内容：アフターコロナにおける県内農家の収益力向上につなげるため、育成状況・環境や栽培技術をデータ解析により可視化し、高品質で多収性のある技術の開発、普及を行う。
事業内容 栽培環境のデータ集積・解析、篤農家のモニタリング

- (当初)「データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立試験費」
(農業技術課 2,100千円)
内容：ICT機器を活用して栽培環境条件や樹体生育をセンシングし、加温栽培における安定生産技術、露地栽培においては、高品質を維持した多収技術を確立する。

- (当初)「データセンシングを活用したキュウリ養液栽培における増収技術の確立試験費」
(農業技術課 2,063千円)
内容：ICT機器を用いた施設内環境のセンシング等により、キュウリの溶液栽培における栽培環境条件を明らかにし、高度環境制御を行うことで飛躍的に収量を増加させる技術を確立する。

② IoT、ICT等の先端技術を活用した農業の普及促進

- (当初)「やまなしスマート農業実装事業費補助金」 (農業技術課 3,000千円)
内容：省力化・低コスト化・高品質化による生産性の向上を図るため、意欲ある農業者等が生産現場で行う先進技術の実証に対し助成する。
補助先 農業者等
補助率 1/2 (県単)

- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円)
内容：本県農業の更なる発展のため、スマート農業や環境に配慮した農業等の取り組みに対し助成する。
補助先 市町村
事業内容 CO₂削減、気候変動への対応、スマート農業の導入等
補助率 1/2 (県単)

- (当初)「データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立試験費」
(農業技術課 2,100千円) P7再掲

- (当初)「データセンシングを活用したキュウリ養液栽培における増収技術の確立試験費」
(農業技術課 2,063千円) P7再掲

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

(2)環境にやさしい農業の推進

① 有機農業の推進

●(当初・6補)「環境にやさしい農業推進事業費」

(農業技術課 当初：10,187千円 6補：204千円)

内容：環境への負荷低減や生物多様性の保全を図るため「環境保全型農業」、「有機農業」、「4パーミル・イニシアチブ」を定着させる取り組みを推進する。

- ・「環境にやさしい生産方式実証・普及費」 (991千円)
- ・「環境保全型農業・有機農業推進事業費」 (1,476千円)
- ・「やまなし有機農業産地づくり推進事業費補助金」 (5,000千円)
- ・「4パーミル・イニシアチブ普及促進事業費」 (1,382千円)
- ・**新**「やまなし有機転換推進事業費補助金」 (204千円)

●(当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

② 環境に配慮した農業の推進

●(当初)「環境保全型農業直接支払補助金」 (農業技術課 19,722千円)

内容：化学肥料・化学合成農薬の低減を推進するため、農業者等が行う取り組みを支援する。

補助先 市町村
補助率 3/4 (国 2/4 県 1/4)

●(当初・6補)「病虫害総合制御技術推進特別対策事業費」

(農業技術課 当初：1,309千円 6補：12,203千円)

内容：生物的、物理的、化学的防除手段の組み合わせにより、環境に配慮した総合的病虫害防除体系を確立し、県内における環境保全型栽培の推進を図る。

- ・「環境に配慮した病虫害防除法の改善」 (1,309千円)

●(当初・6補)「畜産環境総合対策事業費」

(畜産課 当初：497千円 6補：132,000千円)

内容：畜産経営に起因する環境問題を解消するとともに、地域社会と調和のとれた環境対策を推進する。

- ・**臨**「ペレット堆肥活用促進事業費」 (132,000千円)
内容：農業の省力化・低コスト化を図るため、ハケ岳牧場にペレット堆肥を製造する施設を整備する。

●(当初)「4パーミル・イニシアチブ農産物ブランド強化事業費」

(販売・輸出支援課 20,617千円)

内容：地球温暖化対策に貢献する4パーミル・イニシアチブ農産物の認知度向上に向けた取り組みを行う。

●(当初)「農業用廃プラスチック処理対策費負担金」

(果樹・6次産業振興課 1,441千円)

内容：環境公害を防止するため、農業用廃プラスチックを適正に処理する。

●(当初)「環境にやさしい農業推進事業費」

(農業技術課 当初：10,187千円 6補：204千円) P8再掲

●(当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

③ 再生可能エネルギーを活用した農業の普及促進等

- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,284千円のうちの一部)P3再掲

(3) 異常気象への対応

① 地球温暖化に適応した品目・品種、栽培技術の開発・普及

- (当初)「県産主要鉢花における高温対策技術の確立試験費」(農業技術課 2,103千円)
内容：県産主要鉢花栽培について、地球温暖化に対応した高温対策技術を開発し、鉢花の品質向上、および生産の維持拡大を図る。
 - (6補)新「野菜栽培ほ場における温室効果ガス亜酸化窒素発生抑制技術の確立試験費」
(農業技術課 3,000千円)
内容：県産野菜の主要品目であるスイートコーン及びナス栽培における発生実態を調査し、発生要因を明らかにするとともに、対策技術を確立する。
 - (6補)新「果樹や野菜におけるバイオ炭を用いた土壌炭素貯留効果の検証試験費」
(農業技術課 1,918千円)
内容：バイオ炭の材料を、モモやブドウ以外の果樹や野菜にも拡大し、バイオ炭の土壌施用による土壌の炭素貯留量を数値化するとともに、CO₂排出量削減効果を明らかにする。
 - (6補)新「ブドウとモモの新しい窒素施肥基準の作成試験費」
(農業技術課 2,895千円)
内容：ブドウとモモの安定生産や環境に配慮した窒素施肥に向け、ブドウは可給態窒素を考慮した新しい施肥基準、モモは可給態窒素の適正範囲である診断基準を作成する。
 - (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,751千円)
内容：畜産経営の安定を図るため、専門家による経営・生産技術の指導や情報提供を行う。
 - (当初)「ブロイラーにおける暑熱時の生産性低下防止技術の開発試験費」
(畜産課 1,957千円)
内容：夏期における肉用鶏の摂食量減少による発育性の低下や肉質の悪化が問題となっている。そこで、炭酸ファインバブル水や有機酸・アミノ酸の給与によるブロイラーにおける暑熱時の生産性向上効果を明らかにする。
 - (当初)「委託試験費」(畜産課 5,593千円)
 - ・「採卵鶏における快適性に配慮した飼育方法の生産性評価試験費」(2,189千円)
 - ・「生産性を維持しながら温室効果ガス排出削減を可能とする養鶏飼料の開発」
(2,154千円)
 - ・「採卵鶏における気候変動の影響予測」(1,250千円)
 - (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,284千円のうちの一部)P3再掲
 - (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」(農村振興課 40,000千円)P7再掲
- ### ② 農業保険制度への加入促進
- (当初)「組合等指導費」(農政総務課 470千円)
内容：農業保険制度の適正かつ円滑な事業運営を図るため、調査の実施及び農業共済団体に対する指導を行う。

(4) 支援体制の強化

① 試験研究機関の機能強化

- (当初)臨「総合農業技術センター再整備事業費」 (農業技術課 59,154千円)
内容：老朽化した施設の耐震化と試験研究機能の強化を図るため、総合農業技術センターの建て替えを行う。
- (6補)臨「果樹苗木生産体制強化事業費」 (果樹・6次産業振興課 57,018千円)
内容：果樹産地の維持・発展を図るため、総合農業技術センターに苗木生産に必要な施設を整備する。

② 地域普及センターとJAの営農指導員との連携強化

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

③ 農作業安全対策の推進

- (当初)「農作業安全対策強化事業費」 (農業技術課 810千円)
内容：農作業事故の未然防止を強化するため、農業者に対し効果的な啓発を行う。
事業内容 研修会の開催、パンフレットの作成
- (当初)「GAP推進事業費」 (農業技術課 3,584千円)
内容：安全・安心な農産物を生産し、産地競争力の強化を図るため、GAPの普及に向けた取り組みを行う。
 - ・「やまなしGAP等推進事業費」 (3,209千円)
事業内容 推進会議、認証審査会の設置、フォーラムの開催等
 - ・「国際水準GAP認証取得支援推進費」 (375千円)
事業内容 農業教育機関の認証取得審査受審等

3 品目別の生産振興策

(1) 果樹

① 優良品種の開発・普及

- (当初)「ブドウの早期育成に向けた育種手法の確立試験費」 (農業技術課 2, 378千円)
内容:ブドウ新品種の早期育成に向けた新たな育種手法を確立し、皮ごと食べられて温暖化の条件下においても安定して着色する黒色系品種の早期育成を目指す。
- (当初)「赤系ぶどう早期産地化推進事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 3, 391千円)
内容:シャインマスカットの特性を引き継ぐ県オリジナル品種のぶどう「甲斐ベリー7」の早期産地化を図るため、苗木を生産する取り組みに対し助成する。
補助先 (公財) 県農業振興公社
補助率 10/10 (県単)
- (当初)「職務発明推進費」 (農業技術課 1, 100千円)
内容:職務発明に係る種苗登録料及び特許料等を支払い、知的財産権を保護する。
- (当初)「県産ブランド果実海外品種登録推進事業費」 (農業技術課 17, 403千円)
内容:県オリジナル品種の国外への流出および無断栽培を防止し、本県ブランド果実の保護を図るため、中国・韓国での品種登録等を行う。
- (当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 1, 336千円)
内容:オリジナル品種の産地確立を図るため、その普及とブランド化に向けた取り組みに対し助成する。
補助先 全農山梨県本部
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「民間育種選抜支援事業費補助金」 (果樹・6次産業振興課 500千円)
内容:民間で育種選抜された優良系統の品種登録を支援する。
補助先 (公社) 山梨県果樹園芸会
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「ぶどうウイルスフリー苗供給対策事業費」(果樹・6次産業振興課 6, 037千円)
内容:ぶどうの高品質化に向けて、原母樹園の設置管理やウイルス検定等を行う。
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118, 284千円のうちの一部) P3再掲

② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及

- (当初)「新たな肉質のモモ「夢桃香」の特性を活かした省力栽培技術の確立試験費」
(農業技術課 2, 243千円)
内容:県オリジナル品種「夢桃香」について、省力収穫技術を開発し、省力化・高付加価値化技術の適応性を検証する。さらに、省力収穫技術に適した新たな仕立て方法の確立に向け、幼木期の検討を行う。
- (当初)「ブドウ晩腐病防除対策の総点検試験費」 (農業技術課 2, 100千円)
内容:本県におけるブドウ晩腐病の菌種の分布を明らかにするとともに、各菌種の感染時期や薬剤の防除効果等を詳細に調査することで、これまでの防除体系を新たな視点で総点検する。

- (6補)新「スモモの低樹高・省力化樹形の確立試験費」 (農業技術課 1,800千円)
内容:スモモの低樹高・省力化樹形の確立に向け、簡易棚を用いた一文字仕立ての検討を行う。
さらに既存の平棚での一文字仕立ての適応性の検討を行う。

- (6補)臨「ブドウ「シャインマスカット」の未開花症の発生実態の解明試験費」
(農業技術課 1,000千円)
内容:シャインマスカットの生産性の低下をもたらす未開花症の全国的な発生実態の調査および発生園地の状況調査を行い、未開花症発生条件の解析を実施する。

- (当初)「一般試験費」 (食糧花き水産課 20,740千円のうちの一部)
 - ・「水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に関する漁協・養殖業者への指導費」 (7,994千円)
 - ・「効果的な外来魚等抑制管理技術開発事業費」 (2,000千円)
 - ・「ワカサギ耳石標識による資源管理技術開発試験費」 (1,500千円)

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

③ やまなしブランド果実の生産拡大、出荷体制の強化

- (当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 1,336千円) P11再掲

- (当初・6補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 当初:150,000千円 6補:86,150千円)
内容:農産物の産地競争力の強化を図るため、高収益化や低コスト化に向けた取り組みに対し助成する。

補助先	市町村
実施主体	農業者等
内容	生産資材、リース方式による農業機械の導入、集出荷貯蔵施設の整備等
補助率	1/2

- (当初)「すもも産地競争力強化支援事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 38,400千円)
内容:米国産にほんすももの輸入解禁に伴い、県内すもも農家の生産体制を強化する。

- ・「改植促進事業費補助金」 (23,400千円)

補助先	市町村
実施主体	農業者等
事業内容	優良品種への改植
補助率	定額(国1/2、県1/2)
- ・「安定生産支援事業費補助金」 (15,000千円)

補助先	市町村
実施主体	農業者等
事業内容	雨よけ施設の整備
補助率	2/4額(国1/4、県1/4)

- (6補)「もも産地競争力強化支援事業費補助金」 (果樹・6次産業振興課 87,342千円)
内容:米国産ももの輸入解禁に備え、県内もも農家の生産体制を強化する。
 - ・「優良品種への改植の推進」 (39,000千円)

補助先	市町村
事業内容	優良品種への改植

- 補助率 定額
- 「生産効率向上に資する資材の導入」 (48,342千円)
- 補助先 市町村
- 事業内容 生産資材の導入
- 補助率 1/2

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P7再掲

●(2補)「施設園芸等経営強化支援事業費」(果樹・6次産業振興課 152,600千円)
内容：施設園芸農業者等の生産コスト削減や生産性向上を図るための取り組みに対し助成する。

- 補助先 施設園芸農業者、水産養殖業者
- 事業内容 機器整備、資材購入
- 補助率 2/3

④ ワイナリーの需要に対応した醸造用ぶどうの生産拡大

●(6補)新「山梨県のフラッグシップとなる欧州系醸造用品種の選抜(ワイン特性の解明)試験費」(農業技術課 3,000千円)

内容：温暖な地域で栽培されている新たな欧州系品種について、本県におけるワイン特性を明らかにする。また、関係団体から要望された世界的にも注力されている欧州系品種を追加し、本県のフラッグシップとなる特色ある品種を選抜する。

●(当初)「ワイン産地確立推進事業費」(果樹・6次産業振興課 12,390千円)

内容：世界に通用するワイン産地の確立を図るため、醸造用ぶどうの高品質化と生産拡大を図る。

- 「優良系統選抜・供給事業費」 (1,508千円)
- 「栽培技術確立事業費」 (4,114千円)
- 「早期成園化・省力化技術開発費」 (1,618千円)
- 「醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費補助金」 (5,150千円)
- 補助先 醸造用ぶどう安定取引推進会議
- 補助率 定額(県単)

●(当初・6補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 当初：150,000千円 6補：86,150千円) P12再掲

●(当初)「県奨励品種等種苗供給対策事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 4,142千円)

内容：果樹産地の維持・拡大を図るため、民間による供給が不十分な種苗を生産する取り組みに対し助成する。

- 対象品種 醸造用甲州ぶどう
- 補助先 (公財)県農業振興公社
- 補助率 10/10(県単)

(2)野菜

① 主要野菜産地の強化

●(当初・6補)「野菜指定産地等振興費」

(果樹・6次産業振興課 当初：1,174千円 6補：409,064千円のうち一部)

● 「企業参入型野菜産地強化事業費補助金」 (404,074千円)

内容：企業の農業参入による野菜産地の競争力の強化を図るため、農地所有適格法人が行う施設整備に対し助成する。

補助先 中央市
事業内容 低コスト耐候性ハウス等の整備
補助率 1/2

- (当初)「野菜生産出荷安定対策費」 (果樹・6次産業振興課 14,000千円)
内容：野菜生産出荷安定法等に基づき価格差補給金を交付するための資金を造成する。
 - ・「野菜生産出荷安定資金造成事業費補助金」 (11,969千円)
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会
補助率 10/10 (県単)
 - ・「野菜価格安定事業費補助金」 (2,031千円)
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会
補助率 1/3、1/4、2/3 (県単)

② 高品質化、省力化・低コスト化技術等の開発・普及

- (当初)「施設栽培における難防除細菌性病害発生要因の解明と対策試験費」
(農業技術課 2,000千円)
内容：施設栽培における各病害の発生要因を特定し、対策を明確化することで安定生産につなげる。
- (当初)「根深ネギの安定的な周年出荷技術の確立試験費」 (農業技術課 2,100千円)
内容：県産ネギの周年生産を行うための各作型に適した品種選定や品質向上対策技術を明らかにするとともに、連作障害回避のための輪作体系モデルを策定する。
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲
- (当初・6補)「病虫害総合制御技術推進特別対策事業費」
(農業技術課 当初：1,309千円 6補：12,203千円) P8再掲
 - ・臨「重要病虫害防除費」 (12,203千円)

③ 地域特性を生かした特産野菜の生産・販路の拡大

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

(3) 水稲等

① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲
- (当初)「主要農作物等試験費」 (農業技術課 3,850千円のうち一部)
内容：主要農作物の品種比較試験や、主要作物原々種及び原種生産に係る試験を行う。

② 水田のフル活用の推進

- (当初)「経営所得安定対策推進事業費補助金」 (食糧花き水産課 44,838千円)

内容：農業者等に対する経営所得安定対策制度の周知や加入促進を図るとともに、作付確認等に必要な経費について助成する。

補助先 山梨県水田畑作農業再生協議会、市町村

補助率 10/10（国補）

●(当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」 （食糧花き水産課 40,000千円）

内容：各産地が実施する転作作物、加工用米等の栽培等の取り組みに対し助成する。

補助先 市町村

補助率 1/2、1/3（県単）

③ 原料用酒米の産地化の推進

●(当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」

（食糧花き水産課 40,000千円）P15再掲

●(当初)「主要農作物等試験費」

（農業技術課 3,850千円のうちの一部）P14再掲

④ 米穀の需給調整の推進

●(当初)「経営所得安定対策推進事業費補助金」

（食糧花き水産課 44,838千円）P14再掲

●(当初)「水田情報活用地域支援事業費補助金」 （食糧花き水産課 1,829千円）

内容：米の需給調整のため、農業者データや水田面積等の把握に必要な水田情報システムの運用管理等に対し助成する。

補助先 県農業協同組合中央会

補助率 定額（県単）

(4)花き

① オリジナル花きの開発・育成・生産の拡大

●(当初)「花き振興促進事業費」 （食糧花き水産課 8,345千円）

内容：研修会及び新品種等展示会の開催や優良種苗を生産・供給する。

●(当初)「普及活動費」

（農業技術課 118,284千円のうちの一部）P3再掲

② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及

●(当初)「県産主要鉢花における高温対策技術の確立試験費」

（農業技術課 2,103千円）P9再掲

●(6補)新「秋出しコショウランの省エネ品質向上技術の確立試験費」

（農業技術課 1,700千円）

内容：秋出しコショウランの栽培光環境を改善し、省エネかつ品質を向上させる栽培技術を確立する。

●(当初)「普及活動費」

（農業技術課 118,284千円のうちの一部）P3再掲

●(当初)新「やまなしの花産地生産力強化事業費補助金」

（食糧花き水産課 250千円）

内容：県産花きの振興と生産力強化を図るため、花き産地の技術導入に向けた取り組みに対し支援する。

補助先 花き生産者団体
事業内容 高品質化、省力化等の現地実証
補助率 2/4（国1/4、県1/4）

●(当初)「花き振興促進事業費」 （食糧花き水産課 8,345千円）P15再掲

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 （農村振興課 40,000千円）P7再掲

③ 県産花きのPRと販路拡大

●(当初)「やまなしの花総合振興対策費」 （販売・輸出支援課 2,565千円）

内容：県産花きの需要拡大を図るため、販路開拓の取り組みを行う。

●(当初)「フラワーセンター管理費」 （食糧花き水産課 20,944千円）

内容：花と親しむ場を提供するフラワーセンターの機能を維持するため、施設の修繕等を行う。

(5) 畜産

① 食肉のブランド力の強化と畜産農家の経営安定

●(当初)「受精卵供給促進事業費」 （畜産課 10,909千円）

内容：高品質牛の生産を促進するため、受精卵移植技術を活用し、牛の受精卵を農家に提供する。

●(当初)「乳用牛改良推進事業費」 （畜産課 19,292千円）

内容：乳用牛の能力の向上を図るため、雌牛の改良や牛群検定を実施する。

- ・「優良乳用供卵牛選抜事業費」 （18,090千円）
- ・「乳用牛群検定普及定着化事業委託料」 （256千円）
委託先 県酪農業協同組合
- ・「乳用牛検定普及推進事業費補助金」 （946千円）
補助先 県乳用牛群検定組合
補助率 422/1000、10/10（県単）

●(当初)「肉用牛改良推進事業費」 （畜産課 818千円）

内容：県産肉用牛の改良増殖を推進するため、遺伝的データに基づく和牛の効率的な生産を推進する。

- ・「高品質和牛倍増プラン推進事業委託料」 （469千円）
委託先 県家畜改良協会
- ・「高品質和牛倍増プラン推進事務費」 （349千円）

●(当初)「県立牧場管理費」 （畜産課 235,567千円）

内容：農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理並びに県有牛の優良子牛の生産と肉用牛農家への供給を行う。

- ・「県立牧場管理業務委託料」 （195,692千円）
内容：農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理等を行う県立八ヶ岳牧場の運営・管理を指定管理者に委託する。
委託先 （公財）県子牛育成協会
- ・「県立牧場施設管理運営費」 （39,875千円）

内容：施設の修繕や恩賜県有林借地料等

- (当初)「豚の改良増殖費」 (畜産課 13,750千円)
内容：豚の品種の維持と増殖、「豚フジザクラ(ランドレース種)」の開放型育種による改良を行う。
 - ・「品種維持・増殖費等」 (3,485千円)
 - ・「フジザクラ開放型育種改良事業費」 (10,265千円)内容：優良種豚の安定的な供給を図るため、本県が開発した種豚の品種改良を行う。
- (当初)「新銘柄豚生産拡大促進事業費」 (畜産課 30,556千円)
内容：アイオワ州等から導入した基礎豚をもとに、本県が開発した甲州富士桜ポークの生産拡大に向けた取り組みを行う。
- (当初)「鶏の改良増殖費」 (畜産課 11,527千円)
内容：甲州地どり等銘柄鶏の普及を推進するため、種鶏の維持と増殖を行う。
- (当初)「フェスタまきば開催費補助金」 (畜産課 1,214千円)
内容：県立まきば公園で開催されるフェスタまきばの運営に対し助成する。
補助先 フェスタまきば実行委員会
補助率 定額(県単)
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」 (畜産課 10,751千円) P9再掲
- (当初)「肉用子牛価格安定対策事業費」 (畜産課 881千円)
内容：肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者積立金から生産者補給金を交付する。
- (当初)「畜産経営体質強化事業費」 (畜産課 809千円)
内容：畜産経営の改善を図るため、長期低利資金の利子補給と経営指導体制の整備を行う。

② ブランド化・高付加価値化・低コスト化等に向けた技術の開発・普及

- (当初)「アニマルウェルフェアに配慮した肥育豚の飼養管理技術の開発試験費」
(畜産課 1,474千円)
内容：国際的なアニマルウェルフェア(AW)の動きに対応するため、闘争の抑制や豚が本来持っている行動を発現させるための飼養管理が生産性に与える影響を調査するとともに、生産者に対しAWへの理解の促進を図る。
- (当初)「委託試験費」 (畜産課 5,593千円) P9再掲
- (当初)「中小家畜試験費」 (畜産課 8,747千円のうち一部)
内容：飼料の栄養調整等により、無駄な脂肪蓄積を抑制し、肉質が柔らかく保水性の高い消費者に好まれる鶏ムネ肉の飼養技術を開発する。
- (6補)新「肥育豚における飼料費削減のための精密栄養管理技術の開発試験費」
(畜産課 2,897千円)
内容：肥育期間をとおした豚の飼料費削減のための給与技術を体系化することで、飼料価格の高騰による養豚農家負担を軽減し、経営の安定化を図る。
- (6補)新「経膈採卵を活用した高品質な牛体外受精卵生産技術の開発試験費」
(畜産課 2,700千円)

内容：優秀雌牛からの受精卵生産が繰り返し可能な OPU（経膈採卵）-IVF（体外受精）技術を甲州牛増頭に活用する。

- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」 （畜産課 1, 637千円）
内容：家畜衛生技術の普及、飼養衛生管理基準の遵守指導等を行う。
- (当初)「生乳需給調整等対策事業費」 （畜産課 423千円）
内容：酪農経営の安定を図るため、良質で安全な生乳の生産推進や需給調整を行う。
- (当初・6補)「飼料関係対策事業費」
(畜産課 当初：3, 101千円 6補：7, 144千円)
内容：飼料自給率の向上及び飼料の安全性の確保を推進するため、自給飼料の生産技術の開発、普及を行うとともに、飼料の検査や適正な使用の指導等を行う。
 - ・「飼料作物優良品種選定普及促進事業費」 （340千円）
 - ・「飼料利用高度化推進事業費」 （2, 711千円）
 - ・「やまなしエコフィード利用推進事業費」 （50千円）
 - ・臨「グラスフェッドビーフ実証事業費」 （7, 144千円）

③ 次世代型畜産の推進

- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 （農村振興課 40, 000千円）P7再掲
- (当初)「アニマルウェルフェアブランド推進事業費」 （畜産課 498千円）
内容：県産畜産物の新たな付加価値を創出するため、本県独自のアニマルウェルフェア認証制度の情報発信や取得促進に向けた取り組みを行う。

④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化

- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」 （畜産課 1, 637千円） P18再掲
- (当初)「家畜病性鑑定事業費」 （畜産課 22, 169千円）
 - ・「不明疾病の解明事業費」 （4, 892千円）
 - ・「死亡牛BSE全頭検査事業費」 （8, 281千円）
 - ・「家畜病性鑑定推進費等」 （8, 996千円）
- (当初)「家畜伝染病予防費」 （畜産課 29, 335千円）
 - ・「監視伝染病等検査事業費」 （5, 569千円）
 - ・「高病原性鳥インフルエンザ等監視体制強化対策事業費」 （3, 446千円）
 - ・「家畜衛生対策推進費」 （141千円）
 - ・「豚熱防疫対策事業費」 （20, 179千円）
- (当初)「自衛防疫強化総合対策事業費」 （畜産課 1, 338千円）
内容：農家段階での疾病発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を推進する。
 - ・「特定疾病損耗防止推進対策事業費」 （318千円）
 - ・「自衛防疫強化総合対策事業費補助金」 （1, 020千円）
事業主体 （公社）県畜産協会
補助率 定額、1/3（県単）

(6)水産

① 養殖技術の開発と種苗の供給、遊漁の推進

- (当初)「魚苗生産事業費」 (食糧花き水産課 55,142千円)

内容：県内の養殖業者及び漁業協同組合に養殖用・放流用魚苗を供給し、内水面漁業の振興を図る。

- (当初)「内水面利用啓発事業費補助金」 (食糧花き水産課 300千円)

内容：県内漁場の利用者に対し、水産生物資源の保全、適正な利用、環境保全等に関する普及啓発を図る。

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/4(県単)(別に全国内水面漁業協同組合連合会から2/4)

- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 14,160千円のうち一部)

- ・「水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に関する漁協・養殖業者への指導費」(7,994千円)
- ・「効果的な外来魚等抑制管理技術開発事業費」(2,000千円)
- ・「ワカサギ耳石標識による資源管理技術開発試験費」(1,500千円)

- (当初)「コクチバス被害拡大防止対策事業費補助金」 (食糧花き水産課 741千円)

内容：琴川ダムにおけるコクチバスの定着と河川等への被害拡大を防止するため、駆除の取り組みに対し助成する。

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/2(県単)

② ブランド魚の養殖技術の確立・普及と販路拡大

- (6補)臨「富士の介生産力強化学業費」 (食糧花き水産課 8,749千円)

内容：県が開発した「富士の介」の生産拡大を図るため、水槽、自動給餌機等を整備する。

- ・「水産技術センター生産力強化学業費」(6,749千円)
- ・「生産力強化学業費補助金」(2,000千円)

補助先 水産養殖業者

補助率 1/2

- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 14,160千円のうち一部) P19再掲

- ・「富士の介等の機能性面からの魅力向上試験費」(2,666千円)

③ 新規参入養殖業者等への支援

- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 14,160千円のうち一部) P19再掲

- ・「水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に関する漁協・養殖業者への指導費」(7,994千円)

- (当初)「魚苗生産事業費」 (食糧花き水産課 55,142千円) P19再掲

(7)地域特産物

① 茶の高品質化、販路の拡大

- (当初)「茶産地育成推進事業費補助金」 (食糧花き水産課 487千円)

内容：県産茶の品質向上を図り、販路を拡大する。

補助先 県茶振興協議会
補助率 1/2（県単）

●(当初)「未来へつなぐ茶産地イノベーション支援事業費」

(食糧花き水産課 4, 219千円)

内容：峡南地域の茶の維持・発展を図るため、生産力強化や高付加価値化に向けた取り組みを行う。

- ・「老朽茶園更新処理促進事業費補助金」(1, 000千円)
補助先 市町村
補助内容 樹勢を回復させる台切りに要する費用
補助率 定額(国 1/2、県 1/2)
- ・「茶園集積支援事業費補助金」(250千円)
補助先 市町村
補助内容 集積後に必要な土壌改良に要する費用
補助率 1/2(県単)
- ・「プレミアムティー生産・利用拡大支援事業費補助金」(1, 600千円)
補助先 県茶振興協議会
補助内容 プレミアムティーの販売・PR方法の調査、関連商品の試作
補助率 定額(国 1/2、県 1/2)
- ・「生産技術開発・実証試験費」(1, 369千円)

●(当初)「茶の有機栽培実証事業費」(食糧花き水産課 673千円)

内容：県産茶の新たな販路を開拓するため、有機栽培の普及に向けた現地実証等を行う。

② ジビエ等の活用の推進

●(当初)「「やまなしジビエ」ブランド力向上事業費」(販売・輸出支援課 3, 498千円)

内容：捕獲したニホンジカの有効活用を図るため、シカ肉のブランド化と消費拡大に向けた取り組みを行う。

事業内容 県内飲食店でのやまなしジビエフェアの実施等

●(6補)「ジビエ供給力向上事業費補助金」(畜産課 60, 601千円)

内容：捕獲したニホンジカのジビエへの利活用を推進し、供給力を強化するための取り組みに対し助成する。

補助先 富士吉田市
事業内容 処理加工施設の整備
補助率 1/2

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」(農村振興課 40, 000千円) P7再掲

③ 新たな特産品目の導入と産地化

●(当初)「普及活動費」(農業技術課 118, 284千円のうちの一部) P3再掲

4 販売につながるプロモーション等の展開

(1) 海外への販路拡大と販売促進

① 新たな輸出先国の開拓

●(6補)「コーポレートブランド「やまなし」推進に関する予算」

(販売・輸出支援課 29,398千円 畜産課 5,880千円のうち一部)

内容：牛肉・米・魚など新たな輸出品目の拡大に向けた市場調査等

② 輸出促進に向けた新たな体制づくりと効果的なプロモーション活動の実施

●(当初)「農産物輸出拡大サポート事業費補助金」 (販売・輸出支援課 918千円)

内容：香港、台湾等の百貨店におけるフルーツフェアの開催に対する支援等により販路拡大を図る。

補助先 県果実輸出促進協議会

補助率 2/4 (国1/4、県1/4)

●(当初)「農産物戦略的輸出拡大事業費」 (販売・輸出支援課 49,560千円)

内容：更なる輸出を促進するため、アジア諸国において積極的・効果的なプロモーション活動等を実施する。

●(6補)「やまなしGFP グローバル産地づくり推進事業費補助金」

(販売・輸出支援課 5,500千円)

内容：県産果実の輸出拡大を図るため、民間事業者の輸出モデルの構築等に向けた取り組みに対し助成する。

補助先 農業者

事業内容 実施体制の構築、事業効果の検証等

補助率 定額

(2) 国内における販売促進

① 県産農産物等のブランド力の強化

●(当初)「農畜水産物ブランド強化プロモーション事業費」

(販売・輸出支援課 14,384千円)

内容：県産農畜水産物の消費拡大及び生産者の所得向上を図るため、「おいしい未来へ やまなし」の効果的なブランドプロモーションを行う。

内 容 Web 雑誌等への記事掲載、専用サイトのコンテンツ制作等

●(当初)「県産農産物マーケティングリサーチ事業費等」(販売・輸出支援課 2,641千円)

内容：県産農産物の販売競争力の強化を図るため、市場・流通関係者と意見交換等を行う。

●(当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」 (販売・輸出支援課 14,000千円)

内容：県産農産物の販売強化と「やまなしブランド」の認知度向上を図るため、市場や小売店等での販売促進活動及びPR 活動を実施する。

補助先 県農畜産物販売強化対策協議会

補助率 1/2 (県単)

●(当初)「4パーミル・イニシアチブ農産物ブランド強化事業費」

(販売・輸出支援課 20,617千円) P8再掲

- (当初)「**中山間地農業活性化推進事業費補助金**」 (農村振興課 8,000千円)
内容：中山間地農業の活性化を図るため、将来ビジョンの実現に向けた取り組みに対し助成する。
補助先 市町村
内容 研修会の開催等
補助率 10/10
- (当初)「**「やまなしジビエ」ブランド力向上事業費**」
(販売・輸出支援課 3,498千円) P20再掲
- (6補)「**コーポレートブランド「やまなし」推進に関する予算**」
(販売・輸出支援課 29,398千円 畜産課 5,880千円のうち一部) P21再掲
内容：高品質な県産農畜水産物の商品化支援、県産農畜水産物のブランド力強化に向けたプロモーション、アニマルウェルフェアに関する情報発信等
- (当初・6補)「**野菜指定産地等振興費**」 (果樹・6次産業振興課 当初：1,174千円
6補：409,064千円のうち一部) P13再掲
 - ・臨「**「やまなし野菜」推進事業費**」 (4,990千円)
内容：野菜産地の維持・発展を図るため、本件の特色ある野菜のブランド化に向けた取り組みを行う。

② 県産農産物の更なる販売促進

- (当初)「**農産物流通販売強化対策事業費補助金**」 (販売・輸出支援課 4,931千円)
内容：市場・流通、輸出に関する情報収集等を行う農産物インフォメーションセンター・輸出促進センターの運営に対し助成する。
補助先 県農畜産物販売強化対策協議会
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「**販売促進活動等支援事業費補助金**」
(販売・輸出支援課 14,000千円) P21再掲
- (当初・6補)「**やまなし農産物ファン育成事業費**」
(販売・輸出支援課 当初：14,455千円 6補：4,350千円)
内容：県産農畜水産物の消費及び販路拡大を図るための取り組みを行う。
 - ・「**やまなし食材消費拡大推進事業費**」
内容：県産食材のファンづくりを推進するため、ECサイトへの出展を進めるとともにSNSによる情報発信等を行う。
 - ・「**バイ・ふじのくに物産市等開催費**」
内容：県産農畜水産物の消費拡大及び販路拡大を図るため、静岡県と相互に物産市等を開催する。

(3)安全で安心な農産物の生産・供給

① やまなしGAP等やHACCP認証取得の促進

- (当初)「GAP推進事業費」(農業技術課 3,584千円) P10再掲
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,637千円) P18再掲
- (当初)「食肉等流通合理化推進事業費」(畜産課 1,928千円)
内容:合理的かつ安全な食肉の流通を図るため、円滑な業務推進と畜産業振興事業の普及を行う。
- (当初)「アニマルウェルフェアブランド推進事業費」(畜産課 498千円) P18再掲

② 農薬等の適正使用の推進

- (当初)「病害虫発生予察事業費」(農業技術課 1,225千円)
内容:病害虫による被害を最小限度に抑えるため、発生状況の調査と発生予察情報の提供を行う。
- (当初)「防疫推進事業費」(農業技術課 2,569千円)
内容:植物防疫事業の総合的な推進と農薬の適正使用の啓発を行う。
- (当初)「農薬飛散防止対策等事業費」(農業技術課 8,151千円)
内容:農薬のポジティブリスト制度に対応した飛散防止指導等を実施する。
 - ・「安全・安心ブランド農産物推進事業費補助金」(農業技術課 7,320千円)
内容:農産物の安全を確保するため、農薬残留基準を超過した農作物の流通防止に係る取り組みに対し助成する。

補助先	農協等
事業内容	残留農薬分析等
補助率	1/2
 - ・「マイナー作物等農薬登録促進事業費」(農業技術課 831千円)
内容:マイナー作物(全国ベースの生産量3万トン以下)の農薬登録推進
- (当初)「飼料関係対策事業費」(畜産課 3,101千円) P18再掲
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,637千円) P18再掲

③ 農産加工品の製造工程管理の徹底

- (当初)「地域食品産業活性化総合推進事業費」(果樹・6次産業振興課 229千円)
内容:県産農畜産物を主な原材料として優れた加工食品を認証することにより、食品産業の振興を図る。
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,637千円) P18再掲

5 地域の農産物の利用促進

(1) 地域資源を活用した6次産業化の促進

① 6次産業化支援体制の強化

●(当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」

(果樹・6次産業振興課 11,216千円)

内容：農業者の所得向上と農村地域の活性化などを図るため、支援体制を整備するとともに、多様な事業者によるネットワークの構築に向けた取り組みを推進する。

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」(農村振興課 8,000千円) P22再掲

② 県産農産物を活用した新たな加工品開発の促進と販売支援

●(6補)臨「規格外農産物を活用した地域食品産業連携プロジェクト推進事業費」

(果樹・6次産業振興課 1,981千円)

内容：規格外農産物を活用した新たなビジネスモデルの創出に向けた実態調査を行う。

●(6補)臨「やまなし農山漁村発イノベーション整備事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 48,830千円)

内容：農山漁村における農業者等の取得向上や雇用の増大を図るため、地域資源を活用した新事業や付加価値を創出する取組に対し助成する。

補助先 甲府市、南アルプス市、中央市

実施主体 中小企業者

事業内容 農産物加工・販売施設等整備

補助率 1/2

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」(農村振興課 8,000千円) P22再掲

(2) 地産地消・地産訪消の促進に向けた販売集客拠点の整備等への支援

① 県産農産物の消費拡大と新たなニーズに対応した品目の生産支援

●(当初)「普及活動費」(農業技術課 118,284千円のうちの一部) P3再掲

●(当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」

(販売・輸出支援課 14,000千円) P21再掲

●(当初)「フェスタまきば開催費補助金」(畜産課 1,214千円) P17再掲

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」(農村振興課 8,000千円) P22再掲

② 農産物直売所等の施設整備への支援

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P7再掲

●(当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」

(果樹・6次産業振興課 11,216千円) P24再掲

●(当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」(耕地課 5,560千円)

内容：山村地域等の活性化と定住の促進を図るために必要な事業を実施する。

6 地域資源を活用した農山村の活性化

(1) 他分野と連携した農山村の活性化

① 地域資源を活用した都市農村交流の推進

- (当初)「やまなしリフレッシュ農泊推進事業費」 (農村振興課 6,805千円)
内容：農村地域の活性化と所得向上を図るため、農泊事業者が行う企業向けリフレッシュプログラムの開発を支援する。
- (当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」 (耕地課 5,560千円) P24再掲
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」 (農村振興課 8,000千円) P22再掲

② 農福連携の推進

- (当初)「次世代型農福連携パワーアップ事業費」
(農村振興課(障害福祉課) 17,179千円) P6再掲

(2) 農地及び農村景観の保全

① 農業・農村の多面的機能の保全

- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」 (農村振興課 300,628千円)
内容：農業、農村の多面的機能の発揮に向け、その機能を支える活動や農地、水路等の地域資源の質的向上を図る地域ぐるみの共同活動を支援する。
補助先 市町村、推進組織
補助率 3/4 (国 2/4 県 1/4)、10/10
- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」 (農村振興課 407,232千円)
内容：中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、直接支払いを実施する。
 - ・「中山間地域等直接支払交付金」(405,000千円)
内容：協定に基づき継続的に農業者等が行う農業生産活動等に対し交付する。
交付先 市町村
交付率 3/4 (国 2/4 県 1/4) 2/3 (国 1/3 県 1/3)
 - ・「中山間地域等直接支払推進交付金」(1,624千円)
内容：集落や農家に対する説明会の開催、書類確認事務、交付金支払事務等に対し交付する。
交付先 市町村
交付率 1/2

- (当初)「中山間ふるさと・水と土保全対策事業費」
(耕地課 14,414千円の一部) P3再掲

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」 (農村振興課 8,000千円) P22再掲

② 環境との調和に配慮した基盤整備等の推進

- (12補・当初・6補)「中山間地域総合整備事業費」
(耕地課 12補：476,280千円 当初：1,385,831千円
6補：338,360千円)

内容：中山間地域の農業・農村の活性化を図るため、農業生産基盤や農村生活環境基盤を総合的に整備する。

対 象 11地区
負担区分 国（55%）、県（30%）

●(当初・6補)「地域用水環境整備事業費」

(耕地課 当初：62,586千円 6補：3,294千円)

内容：農村地域の恵まれた景観や生態系を保全するため、自然環境に配慮した水路、ため池などを整備する。

対 象 1地区
負担区分 国（50%） 県（25%）

●(当初)「調査設計事業費」 (耕地課 41,500千円)

内容：市町村等が行う土地改良事業の実施に必要な調査設計に対して助成する。

対 象 7地区

●(当初)「農業集落排水事業費」 (耕地課 13,491千円)

内容：農業用水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するための施設整備及び適正な維持管理の促進を図る。

対 象 3地区

●(当初)「基盤整備促進事業費」 (耕地課 97,424千円)

内容：市町村等が行うほ場や農道、用排水路のきめ細やかな農業生産基盤の整備に対し助成する。

事業主体 市町村、土地改良区等
対 象 11地区
補助率 国（50、55%） 県（0.5、10%）

●(12補・当初・6補)「農村災害対策整備事業費」

(耕地課 12補：42,000千円 当初：208,620千円 6補：49,851千円)

内容：災害に対して脆弱な中山間地域等に対し、地域で発生する災害から農村住民の生活を守るため、農業用施設や農村防災施設を総合的に整備する。

対 象 4地区
負担区分 国（55%） 県（29%）

③ 世界農業遺産の認定と保全・活用

●(当初)「世界農業遺産保全・活用推進事業費」 (農政総務課 3,009千円)

内容：世界に類を見ない峡東地域における果樹農業システムを保全し、次世代へ継承するための取り組みを推進する。

実施主体 峡東地域世界農業遺産推進協議会
内 容 子供向け農業体験プログラムの実施、住民向けワークショップの開催等

(3) 鳥獣被害対策の推進

① 野生鳥獣被害対策の推進

●(当初)「鳥獣害防止対策総合実践事業費」 (農業技術課 49,796千円)

内容：野生鳥獣による農作物被害の防止対策を推進する。

・「鳥獣被害防止総合対策事業費補助金」 (47,522千円)

補助先 市町村、鳥獣被害防止協議会等
内 容 捕獲機材の導入、追い払い活動等
補助率 1/2、定額

・「鳥獣害対策指導体制整備事業費」 (1,847千円)

内 容 集落リーダー、技術指導員に対する研修の実施、鳥獣被害対策専門員の配置

●(12 補・当初・6 補)「畑地帯総合整備事業費」

(耕地課 12 補：1, 521, 814 千円 当初：699, 426 千円

6 補：525, 572 千円)

内容：樹園地等の畑地帯において生産性の向上を図るため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。

対 象 19 地区

負担区分 国 (50、55%) 県 (25%)

●(12 補・当初・6 補)「中山間地域総合整備事業費」

(耕地課 12 補：476, 280 千円 当初：1, 385, 831 千円

6 補：338, 360 千円) P25 再掲

●(当初・6 補)「農地環境整備事業費」

(耕地課 当初：252, 540 千円 6 補：94, 900 千円)

内容：耕作放棄地が介在する地域において、優良農地を保全するため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。

対 象 2 地区

負担区分 国 (55%) 県 (30%)

●(12 補・当初・6 補)「経営体育成基盤整備事業費」

(耕地課 12 補：142, 500 千円 当初：1, 004, 670 千円

6 補：323, 090 千円)

内容：多様な担い手への農地の集積を促進するため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。

対 象 8 地区

負担区分 国 (50、55%、62.5%) 県 (27.5%)

●(当初)「活力ある農業・農村施設整備事業費補助金」 (耕地課 115, 000 千円)

内容：地域の多様なニーズに対応し、農業や農村の維持・発展を図るための施設整備に対し助成する。

補助先 市町村等

補助率 1/2 (県単)

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」 (農村振興課 8, 000 千円) P22 再掲

●(当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」

(農村振興課 300, 628 千円) P25 再掲

●(当初)「中山間地域等直接支払事業費」 (農村振興課 407, 232 千円) P25 再掲

② 水産資源の被害防止と保全対策の推進

●(当初)「カワウ食害防止総合対策事業費」 (食糧花き水産課 4, 372 千円)

内容：カワウによる放流稚魚等への食害防止等を図るため、漁場巡回、駆除等の取り組みに対し助成する。

・「カワウ食害防止総合対策事業費補助金」 (3, 637 千円)

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/2 (県単)

・「カワウ飛来状況調査費等」 (735 千円)

7 力強い農業を支える基盤整備

(1) 成長産業化に向けた基盤整備

① 中心経営体等への農地集約や果樹産地等の基盤整備

- (当初)「機構借受農地整備事業費補助金」(担い手・農地対策課 60,000千円)

内容：農地中間管理機構が借り受けた農地の整備に対し助成する。

補助先 市町村、県農地中間管理機構
補助率 定額(県単)

- (当初)「県営事業計画調査費」(耕地課 60,000千円)

内容：県営土地改良事業実施のための事業計画作成に必要な調査を行う。

- (当初・6補)「かんがい排水事業費」

(耕地課 当初：230,580千円 6補：213,886千円)

内容：基幹的農業水利施設等の長寿命化を図るため、保全計画に基づき補修、更新を行う。

対象 3地区
負担区分 国(50%) 県(25%)

- (12補・当初・6補)「畑地帯総合整備事業費」

(耕地課 12補：1,521,814千円 当初：699,426千円

6補：525,572千円) P27再掲

- (12補・当初・6補)「中山間地域総合整備事業費」

(耕地課 12補：476,280千円 当初：1,385,831千円

6補：338,360千円) P25再掲

- (当初・6補)「地域用水環境整備事業費」

(耕地課 当初：62,586千円 6補：3,294千円) P26再掲

- (当初・6補)「農地環境整備事業費」

(耕地課 当初：252,540千円 6補：94,900千円) P27再掲

- (12補・当初・6補)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」

(耕地課 12補：150,750千円 当初：197,640千円

6補：49,997千円)

内容：耕作放棄地の解消・発生防止を図るため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。

対象 3地区
負担区分 国(55%) 県(27.5%)

- (12補・当初・6補)「経営体育成基盤整備事業費」

(耕地課 12補：142,500千円 当初：1,004,670千円

6補：323,090千円) P27再掲

- (当初)「調査設計事業費」(耕地課 41,500千円) P26再掲

- (当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 13,491千円) P26再掲

- (当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 97,424千円) P26再掲

- (当初)「**県単土地改良事業費**」 (耕地課 当初：60,000千円)
内容：県営土地改良施設の応急的な改修や補修等を行う。
 - (当初・6補)「**広域営農団地農道整備事業費**」
(耕地課 当初：71,370千円 6補：38,430千円)
内容：農地と集落、集出荷施設を有機的に結びつけることで効率的な農業経営の展開を図るため、地域の農道網の核となる農道を整備する。
事業主体 県
実施地区数 1地区
負担区分 国(55.5%) 県(34.5%)
 - (当初・6補)「**農村地域活性化農道整備事業費**」
(耕地課 当初：92,960千円 6補：167,267千円)
内容：農村地域におけるアクセス向上を図るため、集落や拠点施設を結ぶ農道を整備する。
事業主体 県
実施地区数 5地区
負担区分 県(70%等)
 - (当初)「**果樹団地化促進支援事業費補助金**」 (耕地課 10,000千円)
内容：果樹産地における生産性の向上を図るため、ほ場整備時の果樹の伐採や育成等に対し助成する。
補助先 市町村等
補助率 定額(県単)
 - (当初)「**農地集積基盤整備事業費補助金**」 (耕地課 50,000千円)
内容：農用地の利用集積を促進するため、集積を行う基盤整備事業の農家負担に対し助成する。
事業主体 市町村等
補助率 定額(最大12.5%)(県単)
- ② **企業の農業参入に向けた基盤整備**
- (2補・当初)「**企業的農業経営推進支援モデル事業費補助金**」
(担い手・農地対策課 2補：14,000千円 当初：40,000千円)
内容：企業などの農業参入を促進するため、ほ場や農道などの生産基盤の条件を整備するモデル的な取り組みに対し助成する。
補助先 市町村、土地改良区等
補助率 1/2(県単)
 - (当初)「**県営事業計画調査費**」 (耕地課 60,000千円) P28再掲
 - (12補・当初・6補)「**畑地帯総合整備事業費**」
(耕地課 12補：1,521,814千円 当初：699,426千円
6補：525,572千円) P27再掲
 - (12補・当初・6補)「**中山間地域総合整備事業費**」
(耕地課 12補：476,280千円 当初：1,385,831千円
6補：338,360千円) P25再掲
 - (当初・6補)「**農地環境整備事業費**」
(耕地課 当初：252,540千円 6補：94,900千円) P27再掲

- (12補・当初・6補)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」
(耕地課 12補：150,750千円 当初：197,640千円
6補：49,997千円) P28再掲
- (12補・当初・6補)「経営体育成基盤整備事業費」
(耕地課 12補：142,500千円 当初：1,004,670千円
6補：323,090千円) P27再掲
- (当初)「調査設計事業費」(耕地課 41,500千円) P26再掲
- (当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 13,491千円) P26再掲
- (当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 97,424千円) P26再掲
- (当初)「県単土地改良事業費」(耕地課 当初：60,000千円) P29再掲
- (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」(耕地課 10,000千円) P29再掲
- (当初)「農地集積基盤整備事業費補助金」(耕地課 50,000千円) P29再掲
- (当初・6補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 当初：150,000千円 6補：86,150千円) P12再掲

(2)災害に強い基盤整備

① 防災・減災に向けた農業用水利施設等の整備

- (当初)「県営事業計画調査費」(耕地課 60,000千円) P28再掲
- (12補・当初・6補)「防災重点農業用ため池緊急整備事業費」
(耕地課 12補：562,960千円 当初：631,181千円
6補：271,578千円)
内容：防災重点農業用ため池の受益地における大規模地震及び集中豪雨の被害を未然に防止するため、必要な防災対策を実施する。
事業主体 県
実施地区数 17地区
負担区分 国(55%) 県(34%)
- (12補・当初・6補)「農村災害対策整備事業費」
(耕地課 12補：42,000千円 当初：208,620千円
6補：49,851千円) P26再掲
- (12補・当初・6補)「農業用河川工作物等応急対策事業費」
(耕地課 12補：94,500千円 当初：120,780千円
6補：68,230千円)
内容：洪水等による災害発生を未然に防止するため、農業用河川工作物の整備、補強等を実施する。
事業主体 県
実施地区数 2地区
負担区分 国(55%) 県(37%)

●(12補・当初・6補)「土地改良施設耐震対策事業費」

(耕地課 12補：52,500千円 当初：54,900千円 6補：32,047千円)
内容：大規模地震による農道橋への被害を未然に防止するため、必要な耐震対策を実施する。

実施地区数 2地区
負担区分 国(55%) 県(34、37%)

●(12補・当初)「たん水防除事業費」

(耕地課 12補：73,500千円 当初：131,760千円)
内容：台風、豪雨等による農地、農業用施設等の洪水被害を防止するため、排水機、排水樋門、排水路などを整備する。

事業主体 県
実施地区数 3地区
補助率 国(55%) 県(32%)

●(12補・当初・6補)「用排水施設等整備事業費」

(耕地課 12補：61,790千円 当初：111,065千円
6補：74,115千円)

内容：農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、用排水施設などを整備する。
実施地区数 3地区

② 農業用施設の耐震化・長寿命化の推進

●(2補・当初)「土地改良施設維持管理費」

(耕地課 2補：11,900千円 当初：117,074千円)

・「土地改良施設維持管理適正化事業費補助金(60,000千円)」

内容：土地改良施設の機能維持や耐用年数の延長を図るための資金造成に対する助成

補助先 県土地改良事業団体連合会
補助率 30%

・「国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金」(57,074千円)

内容：管理体制の整備強化

補助先 笛吹川沿岸土地改良区
釜無川右岸土地改良区連合
補助率 100%(国50%、県25%、市町村25%)

・臨「農業水利施設省エネルギー化推進事業費補助金」(11,900千円)

内容：農業水利施設を管理する土地改良区が行う省エネルギー化の取り組みに対し助成する。

補助先 笛吹川沿岸土地改良区
釜無川右岸土地改良区連合
補助率 定額

●(当初・6補)「かんがい排水事業費」

(耕地課 当初：230,580千円 6補：213,886千円) P28再掲

●(当初)「調査設計事業費」(耕地課 41,500千円) P26再掲

●(当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 13,491千円) P26再掲

●(当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 97,424千円) P26再掲

●(当初)「国直轄耕地事業費負担金」(耕地課 2,402千円)

内容：国営施設機能保全事業に対する負担金
負担期間 平成24年度～令和4年度
負担割合 16.33%

- (12補・当初・6補)「農業用河川工作物等応急対策事業費」
(耕地課 12補：94,500千円 当初：120,780千円
6補：68,230千円) P30再掲
- (12補・当初・6補)「土地改良施設耐震対策事業費」
(耕地課 12補：52,500千円 当初：54,900千円
6補：32,047千円) P31再掲
- (12補・当初)「たん水防除事業費」
(耕地課 12補：73,500千円 当初：131,760千円) P31再掲
- (12補・当初・6補)「用排水施設等整備事業費」
(耕地課 12補：61,790千円 当初：111,065千円
6補：74,115千円) P31再掲

(3) 効果的な荒廃農地対策の推進

① 荒廃農地の発生防止対策の推進

- (当初)「農業委員会指導費」 (担い手・農地対策課 151,880千円) P4再掲
- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」
(農村振興課 300,638千円) P25再掲
- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」 (農村振興課 407,232千円) P25再掲

② 荒廃農地の再生の推進

- (当初)「県営事業計画調査費」 (耕地課 60,000千円) P28再掲
- (12補・当初・6補)「中山間地域総合整備事業費」
(耕地課 12補：476,280千円 当初：1,385,831千円
6補：338,360千円) P25再掲
- (当初・6補)「農地環境整備事業費」
(耕地課 当初：252,540千円 6補：94,900千円) P27再掲
- (12補・当初・6補)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」
(耕地課 12補：150,750千円 当初：197,640千円
6補：49,997千円) P28再掲
- (12補・当初・6補)「経営体育成基盤整備事業費」
(耕地課 12補：142,500千円 当初：1,004,670千円
6補：323,090千円) P27再掲
- (当初)「調査設計事業費」 (耕地課 41,500千円) P26再掲

- (当初)「農業集落排水事業費」 (耕地課 13,491千円) P26再掲
- (当初)「基盤整備促進事業費」 (耕地課 97,424千円) P26再掲
- (当初)「企業の農業展開支援対策事業費」 (担い手・農地対策課 5,419千円) P2再掲
- (当初)「耕作放棄地等再生整備支援事業費補助金」(担い手・農地対策課 15,000千円)
内容：優良農地を確保するとともに、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地の解消に向けたほ場や農道整備等の取り組みに対し助成する。
補助先 市町村、農協、土地改良区等
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「機構借受農地整備事業費補助金」
(担い手・農地対策課 60,000千円) P28再掲

③ 再生農地の活用の促進

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」(農村振興課 8,000千円) P22再掲
- (当初)「耕作放棄地等再生整備支援事業費補助金」
(担い手・農地対策課 15,000千円) P33再掲
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」 (畜産課 10,751千円) P9再掲

補助対象別主要事業一覧 No. 1 (生産関係施設)

事業名	育苗施設	穀類乾燥調整貯蔵施設	堆きゆう肥施設・散布機	動力溝掘機	種苗増殖施設	消毒用機械・施設	コンバイン	灌水用施設	温室等生産施設	菌類生産施設	運搬機械	農機具格納庫	防風・防霜施設	その他栽培用機械	種苗の購入	ぶどう棚・醸造施設	水産関係施設	機械・施設リース
農業用機械・施設整備事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		△	△	○	○		○		
経営発展支援事業費補助金(担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○		○
果樹王国やまなし就農支援事業費補助金 (担い手・農地対策課)																		△
やまなしスマート農業実装事業費補助金 (農業技術課)									□					□				
醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															○	◇		
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△	△		△		△
すもも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															△			
もも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															△			
施設園芸等経営強化支援事業費 (果樹・6次産業振興課)									△					△			△	
活力ある水田農業支援事業費補助金 (食糧花き水産課)	○	△	○	○	○	○	△	○	○		○			○				
富士の介生産力強化事業費(食糧花き水産課)																	○	
やまなし未来農業応援事業費補助金(農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆				

注) △は補助条件に特に留意する。◇はぶどう棚に限る。□は先進技術の実証に必要な設備等に限る。▽は補強に限る。
☆はCO₂削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた機械・設備等に限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 2 (生産施設：畜産関係)

事業名	飼料調整施設	飼料貯蔵施設	飼料収穫調整機械	飼料運搬車	放牧施設	糞尿処理施設・機械	農機具格納庫	堆きゆう肥施設
畜産環境総合対策事業費（畜産課）						○		○
飼料関係対策事業費（畜産課）	○	○	○	○	○	○	○	○

補助対象別主要事業一覧 No. 3 (流通・加工・販売施設)

事業名	畑作物等加工施設	茶等特用作物加工施設	果樹等加工施設	畜産物加工施設	農畜産物直売施設	集出荷施設	貯蔵施設	選別用機械	特産品開発
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	○	○	○			○	○	○	
やまなし農山漁村発イノベーション整備事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	○	○	○		○				
ジビエ供給力向上事業費補助金（畜産課）				○					
活力ある水田農業支援事業費補助金 (食糧花き水産課)					○	○	○	○	
やまなし未来農業応援事業費補助金 (農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

注) ☆は CO₂ 削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた機械・設備等に限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 4 (土地基盤整備)

事業名	用排水路整備	整地・客土	水田のほ場整備	農道の改良・舗装	かんがい施設	土壌・土層改良	畑・樹園地のほ場整備	暗渠排水	草地・飼料畑等の造成	伐採・抜根・改植	農地の防災対策・保全	防風施設	農地の流動化・集団化	ため池等の整備	排水機場の設置	地滑りの防止	鳥獣害の防止
企業的農業経営推進支援モデル事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				
耕作放棄地等再生整備支援事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				
機構借受農地整備事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					
自給飼料増産促進事業費 (畜産課)									○								
かんがい排水事業費 (耕地課)	○				○												
畑地帯総合整備事業費 (耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
広域・基幹などの農道整備事業費 (耕地課)				○													
中山間地域総合整備事業費 (耕地課)	○	○	○	○			○	○	○		○	○		○			○
農地環境整備事業費 (耕地課)	○		○	○			○	○	○		○						○
耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費 (耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
経営体育成基盤整備事業費 (耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
基盤整備促進事業費 (耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○
農地集積基盤整備事業費補助金 (耕地課)													○				
活力ある農業・農村施設整備事業費補助金 (耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
用排水施設等整備事業費 (耕地課)	○														○		
防災重点農業用ため池緊急整備事業費 (耕地課)	○										○			○			
農村災害対策整備事業費 (耕地課)	○										○			○		○	
地すべり対策事業費 (耕地課)																○	
農業用河川工作物等応急対策事業費 (耕地課)											○						
土地改良施設耐震対策事業費 (耕地課)														○			
団体営ため池等整備事業費 (耕地課)														○			
たん水防除事業費 (耕地課)															○		

補助対象別主要事業一覧 No. 5 (農村の整備)

事業名	営農飲雑用水施設	体験農園	農村集落親水・景観保全	集落防災施設	研修・交流等施設	高齢者活動支援施設	施設用地整備	ため池等水辺環境の整備	農村集落道整備	農村集落用排水施設	生態系の保全	簡易給水・排水施設
畑地帯総合整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
中山間地域総合整備事業費（耕地課）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
地域用水環境整備事業費（耕地課）			○	○				○			○	
経営体育成基盤整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
防災重点農業用ため池緊急整備事業費（耕地課）				○				○				

補助対象別主要事業一覧 No. 6-1 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会等の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	実証ほ場等の設置	種苗の購入	生産資材の導入	農産物のPR	新技術等の導入	農地の利用調整	農地利用集積促進	果樹伐採・棚の再設置他	普及啓発活動	集出荷関係機器の整備	体験農園機械・簡易施設整備	
すもも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)							○									
もも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)							○									
施設園芸等経営強化支援事業費(果樹・6次産業振興課)							○									
やまなしの花産地生産力強化学業費補助金 (食糧花き水産課)					○				○							
中山間地農業活性化推進事業費補助金(農村振興課)		○	○													
やまなし未来農業応援事業費補助金(農村振興課)									☆					☆	☆	
果樹団地化促進支援事業費補助金(耕地課)											○	○				

注) ☆は CO₂削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた機械・設備等に限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 6-2 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	生産組織等の活動助成	農産物等のPR	景観の保全・形成	集落共同活動の支援	鳥獣害の防止	国際水準GAPの認証取得	特産品開発
GAP推進事業費（農業技術課）	○	○								○	
安全・安心ブランド農産物推進事業費補助金（農業技術課）		○		○							
鳥獣被害防止対策総合対策事業費補助金（農業技術課）	○								○		
環境保全型農業直接支払補助金（農業技術課）					○						
4パーミルイニシアチブ農産物ブランド強化事業費 （販売・輸出支援課）				○		○					
フェスタまきば開催費補助金（畜産課）						○					
茶産地育成推進事業費補助金（食糧花き水産課）		○			○	○					
未来へつなぐ茶産地イノベーション支援事業費（食糧花き水産課）						○					○
やまなしの花総合振興対策費（食糧花き水産課、販売・輸出支援課）	○				○	○					
中山間地域等直接支払事業費（農村振興課）	○	○		○		○	○	○	○		
農地維持・資源向上活動支援事業費補助金（農村振興課）	○	○		○			○	○	○		
中山間ふるさと・水と土保全対策事業費（耕地課）	○	○	○	○			○	○			